

くすり一口メモ

低血糖の副作用に注意すべき内服薬

本年3月に、「ニューキノロン系抗菌剤ガチフロキサシンの服薬時に低血糖が起こる可能性がある。」との緊急安全情報が出されました。そこで、同じように低血糖をおこす可能性のある薬剤について調べてみました。

糖尿病の患者、下記薬剤を併用している患者、高齢者、腎障害患者などが特に注意を要すると思われます。このような患者には、薬剤交付時に低血糖が起こる可能性があることとその症状、また低血糖発作時の対応について説明することが必要であると思われます。

- グルコシダーゼ阻害剤	アカルボース (グルコバイ)	ボグリボース (ベイスン)
インスリン抵抗性改善血糖降下剤	塩酸ピオグリタゾン (アクトス)	
スルホニル尿素系血糖降下剤	アセトヘキサミド (ジメリン) グリクラジド (グリミクロン) グリベンクラミド (ダオニール) トラザミド (トリナーゼ)	クロルプロパミド (アベマイド) グリクロピラミド (デアメリンS) グリメピリド (アマリール) トルブタミド (ラスチノン)
スルホンアミド系血糖降下剤	グリブゾール (グルデアーゼ)	
速効型食後血糖降下剤	ナテグリニド (ファステック)	
ビグアナイド系血糖降下剤	塩酸ブホルミン (ジベトンS)	塩酸メトホルミン (メルビン)
抗血小板剤・サリチル酸系解熱消炎鎮痛	アスピリン	
ニューキノロン系抗菌剤	シプロフロキサシン (シプロキサシ) エノキサシン (フルマーク) 塩酸ロメフロキサシン (ロメバクト) オフロキサシン (タリビット) スパルフロキサシン (スパラ) ガチフロキサシン (ガチフロ) フレロキサシン (メガロシン) レボフロキサシン (クラビット) ノルフロキサシン (バクシターール) トシル酸トスフロキサシン (オゼックス) *バクシターールとオゼックスは類薬にて注意することと記載あり	
合成抗菌剤 (S T 合剤)	スルファメトキサゾール・トリメトプリム (パクタ)	
高脂血症治療剤	ベザフィブラート (ベザトールSR)	
HMG-CoA還元酵素阻害剤	アトルバスタチンカルシウム水和物 (リビトール)	
不整脈治療剤	塩酸ビルメノール (ビメノール)	コハク酸シベンゾリン (シベノール) ジソピラミド (リスモダン)
- 遮断剤	塩酸カルテオロール (ミケラン)	
切迫流・早産治療 2 - 刺激剤	塩酸リトドリン (ウテメリン)	新生児低血糖症の可能性あり
肝不全用成分栄養剤	アミノレバンEN	
経腸成分栄養剤	エレンタール	
抗ウイルス・HIVプロテアーゼ阻害剤	サキナビル (インビラーゼ)	ジダノシン (ヴァイデックス)
インドール酢酸系解熱消炎鎮痛剤	インドメタシン	
抗甲状腺剤	チアマゾール (メルカゾール)	
経口腸管洗浄剤	ニフレック	
脳循環代謝改善剤	ホバンテン酸カルシウム (ホパテ)	
免疫抑制剤	ミコフェノール酸モフェチル (セルセプト)	
副腎皮質ホルモン合成阻害剤	ミトタン (オベプリム)	
タンパク分解酵素阻害剤	メシル酸カモスタット (フォイバン)	

【参考文献】日本医薬品集2002年10月版
(鹿児島市医師会病院薬剤部 野間口 寛)